

井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。
17ページに掲載している広報クイズの答えと一緒に、気ままなひとこと、ちょっと言いたいひとことを、お待ちしております。

読者の伝言板

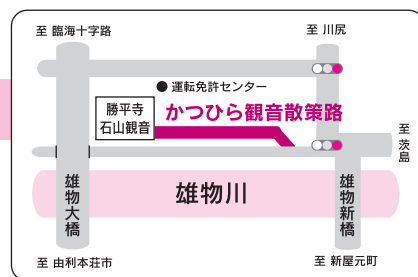
- 家計を苦しめた値上がりだったが、最後にハッピーなこともあった。安価なハタハタで毎日が豪華な鍋料理。ありがとさん。ごちそうさん(オカンさん 55歳・雄和)
- 今年はハタハタの寿司作りに挑戦しました。友だちにおすそわけしたら、味がよくできたと喜んでくれました(加藤利恵子さん 62歳・牛島)
- 12月19日号の「暖房費の節約術」を見て、自分がすでにやっていること、やれていないことがチェックできました。あつという間の1年、ありがとございました(きひるさん 37歳・東通)
- 暖房費の節約はもちろん、いろいろな節約に家族みんなで取り組みたいです。1人ひとりの意識が大事ですよ(ねずみさん 15歳・御所野)
- 12月19日号3ページの「雑がみ分別のアイデア」、参考になりました。私は雑がみを処分する前に「何かに使えなかなー」と考えます。このハガキも再利用紙です(楽エコさん 55歳・広面)
- いつもの写真もいけれど、12月5日号表紙の倉田よしみさんのイラストもカラフルでかわいかったです(多田聖太朗さん 18歳・泉)
- 寒い冬が来ましたね。あんまり寒いので、このところ、娘を湯たんぽがわりにだっこして眠っています。幸せな気分です(ぬくぬくさん 34歳・桜ガ丘)
- 本格的な雪はまだ先でしょう。か。スキー場にだけは降ってもらいたいと毎日空を見上げています(岬さん 35歳・千秋)
- 12月19日号10ページの「除雪後の間口の雪を寄せます」を目にしたとき、とてもうれしく思いました。というの、ひとり暮らしの高齢者のおぼが雪の季節になると、とても苦労していました。離れている私は手伝いもできず寂しいですが、今年からは安心できます。早く登録できるよう知らせます。感謝です(伊藤栄子さん 64歳・浜田)
- 雪の大森山動物園、楽しそうですね。冬休みには孫を連

地域のお話 おしえて!!

勝平地区の住民が散策路を整備 地域づくりはみんなで楽しく!

雄物川下流の右岸に、多い日には250人もの人が散歩を楽しむという小道があります。その道をもっと快適にしようと、新屋勝平地区社会福祉協議会理事の伊藤均矢さんは、周辺町内会(勝平町、寿町、寿南町、南浜町)に呼びかけ、東北建設協会などの助成を受けて、昨年11月中旬にベンチや円卓の設置と桜の植樹を行いました。11月30日には町内会や社協のかた12人が集まって現地を視察。その後開催した意見交換会で、小道の名前を、西端にある石山観音にちなみ「かつひら観音散策路」に決めました。

伊藤さんは「散策路の整備は、地域のことを地域で決めたことに価値があります。これからもみんなで地域づくりを楽しみますよ。地域が元気かどうかは住民次第ですからね」と話してくれました。



散策路の全長は約1キロ



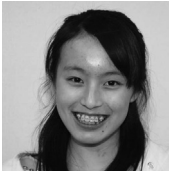
ベンチを前に「意外に風が強いね」「一息つくには最高」といった声が聞かれました。



おしゃべりかわらばん

一輪車全国大会で大活躍！

11月24日、静岡市で開かれた全日本一輪車競技大会の女子中学生ソコの部で、白百合保育園一輪車クラブ(八橋)の佐藤春佳さんが優勝、石塚麗々香さんが3位になりました。



佐藤春佳さん(秋大附属中1年)

最高の演技で優勝

本番ではお母さんが作ってくれた衣装で演技しました。緊張せず、ノーミスの演技で優勝できてうれしかったです。来年も連覇めざしてがんばります。



石塚麗々香さん(泉中2年)

来年は優勝めざして

初出場で3位に入賞することができ、びっくりしました。陰で支えてくれた、お母さんや保育園の先生、いっしょに練習してくれたみんなに感謝したいです。



白百合保育園一輪車クラブの部員は現在40人。全国大会小学生の部で外旭川小6年の山田華子さん(前列左)が7位入賞するなど、今後の活躍が期待される選手がたくさんいます。

前向きな姿勢が大切

これまで元気でいられたことで、このような大きな賞を受賞することができ、みなさんに感謝しています。障害を克服するには、くじけず、勇気を持って前に進む姿勢、心の持ちようが大切だと思います。



障害を克服し自立更生者として厚生労働大臣表彰を受賞した長沼兼重さん(雄和)

ハンドベルって楽しい



仲小路のクリスマスフェスタでハンドベルを演奏した成田胡桃さん(桜小1年)

小学校の友だち6人でハンドベルを演奏しました。ひとつの曲をみんなで協力して演奏することが楽しいです。ステージでは少し緊張したけど、大好きな「崖の上のポニョ」を上手に演奏できました。



秋田大橋～雄和ダリア園を屋形船で遊覧する「秋田悠久ライン」が昨年12月、就航1周年を迎えました。



行ってきま～す！

●今年(71歳・土崎)は、牛のよきにのしと急がず走らず前に向かって生きていこうと思えます。良い一年であるように祈っています(工藤敏子さん 69歳・濁川)

●平成21年も毎月クイズに応募できるよう、健康に気をつけがんばります(保坂久治さん 72歳・牛島)

「榎山がまくら」をご存知ですか？雪の壁で作った四角い部屋にわら葺きの屋根をかけた「がまくら」を作り、中に水神様を祭る榎山地区の小正月行事で、毎年2月11日に行われます。榎山で生まれ育った私も大人になるまでこの行事を知りませんでした。今年(71歳・土崎)は、牛のよきにのしと急がず走らず前に向かって生きていこうと思えます。良い一年であるように祈っています(工藤敏子さん 69歳・濁川)



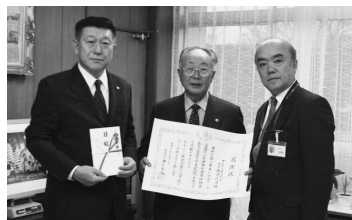
ありがとう！



11月26日、赤帽秋田県軽自動車運送協同組合(左)から、社会福祉に役立ててほしいと、八橋の市老人福祉センターに42型テレビが寄贈されました。



12月9日、県内各テレビ局や電力会社などからなる秋田電気同友会から、新屋の心身障害者小規模作業所「秋田はまなす共同作業所」に42型テレビが寄贈されました。



12月19日、マックスバリュ東北親交会から、チャリティー野球教室の収益金で購入したAED(自動体外式除細動器)5台が市に寄贈されました。